「やわらか戦車」をテーマをとしたクレイアニメ制作ワークショップ
“やわらか戦車クレイアニメワークショップfor Kids”開催のお知らせ
～産学連携による子どもの創造・表現活動の推進～

2007年3月22日
特定非営利活動法人 CANVAS

子どもたちの創造・表現活動を推進するために、特定非営利活動法人 CANVAS（以下、CANVAS。）、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構（以下、DMC。）、株式会社ファンワークス（以下、ファンワークス。）株式会社ライブドア（以下、ライブドア。）は、子どもたちを対象とした、クレイアニメ制作ワークショップ“やわらか戦車クレイアニメワークショップ for Kids”を下記の要領で開催します。

CANVAS・・・・・・・・・子ども向け参加型創造・表現活動を推進。URL：http://www.canvas.ws

DMC・・・・・・・・・・・・・デジタルコンテキスト(デジタルコンテンツ素材を利用目的に沿って生成・編集・加工・統合することにより デザインされる、シナリオをもったデジタルコンテンツ)の創造を推進し、の創造と流通の活動を、一般の人々に開放するとともに、新しい産業分野を切り拓くことを目的「デジタルコンテキスト」の創造を推進し、 研究開発・国際流通促進・人材育成を展開。
URL：http://www.dmc.keio.ac.jp

ファンワークス・・・・・「やわらか戦車」をはじめとする個人制作クリエイターのビジネスを支援。
URL：http://www.fanworks.co.jp/

ライブドア・・・・・・・・「やわらか戦車」をはじめとするフラッシュ・動画アニメを配信する「livedoor ネットアニメ」を展開。
URL：http://anime.livedoor.com/

株式会社ファンワークスのプロデュースによる、WEB サイト上で展開されるフラッシュアニメ「やわらか戦車」は、2005 年の配信以来、20 社、100 アイテム以上の商品化、文化庁メディア芸術 100 選エンタテインメント部門 1 位、アニメーション神戸、ウェブ・オブ・ザ・イヤー、総務省 AMD アワードなどを受賞し、様々な話題を集めています。

“やわらか戦車クレイアニメワークショップ for Kids”では、参加者は 2 日間かけて、その「やわらか戦車」をテーマに、ストーリー・キャラクターづくりから、撮影、編集まで、デジタルとアナログの要素を含む本格的なクレイアニメの制作工程にチャレンジし、作品を完成させます。完成した作品は、「livedoor ネットアニメ」等の WEB サイト、株式会社エクシング（URL：http://www.xing.co.jp/）運営の「ポケメロ JOYSOUND」、ギガネットワークス株式会社(URL：http://www.giga.co.jp/)運営の「着信メロディGIGA」等のケータイサイトにて配信を予定しています。

記

〔名 称〕 やわらか戦車クレイアニメワークショップ for Kids
〔日 程〕 2007 年 4 月 21 日（土）～22 日（日）10:00－17:00
〔会 場〕 慶應義塾大学三田キャンパス東館 6F「GLOBAL STUDIO」
〔対 象〕 小学 3 年生～6 年生
〔定 員〕 20 名
〔主 催〕 株式会社ファンワークス、特定非営利活動法人 CANVAS、株式会社ライブドア
慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構
〔協 賛〕 株式会社フェイス、株式会社角川ザテレビジョン
〔協 力〕 株式会社すばる堂、株式会社バンプレスト、ショウワノート株式会社

ICT 技術の普及により、コンテンツの制作及び流通をめぐる環境は大きく変わり、誰もが創作をし、発信することができる土壌が整いつつあり、またそれらの変化は、産業のあり方にも大きく作用しています。

本ワークショップのテーマとなる「やわらか戦車」は、そのような新しい流れのなかで生まれたコンテンツを代表するものです。第一に、制作形態として、作者は、1 人でアニメ制作、音楽、声優、歌をこなし、作品を仕上げています。第二に、流通の形態として、インディーズ作品である「やわらか戦車」が、数々の商品化、受賞を重ねるほどのロイヤリティを獲得するまでには、そのはじめから一般消費者の動向が大きく作用しています。WEB サイトに作品が公開され、インターネットユーザーに注目を受け、続いて、ソーシャルネットワーキングサービスを通じて、ファンが独自に関連グッズを創作、展開をするといった、消費者の草の根的な支持に、マスコミ、玩具メーカーが着目し、「メジャー」なアニメとして定着したという経緯があります。これらは、誰もが 1 人でコンテンツを生み出すことが出来、またそれらを発信することにより、制作者と一般ユーザー、また一般ユーザー同士が相互にコミュニケーションを重ねながら、コンテンツを展開していくことができることを端的に示しています。

本ワークショップは、このような考えに基づき、子どもたち 1 人ひとりがコンテンツを創り、地球のすみずみに発信し、多元的で新しい社会を築き、新しい表現を拓いていってほしいという願いのもとに、開催いたします。

子どもたちの創造力・表現力を育む活動を全国に展開している CANVAS、「やわらか戦車」をプロデュースするファンワークスとライブドア、2007 年度より、子ども、デジタルコンテンツ、知財をテーマとした「デジタルキッズプロジェクト」をスタートさせる DMC、それぞれが協力し、実施するこの試みにご理解をいただき、ぜひ貴社媒体を通じて読者・視聴者の皆さまに、本ワークショップを広くお知らせいただきたく、また同時に当日の取材につきましてもご検討いただけますようお願いいたします。

以上

****

関連 WEB サイト

・“やわらか戦車クレイアニメワークショップ for Kids”概要サイト http://www.canvas.ws/yawaraka
(特定非営利活動法人 CANVAS 公式サイト内)

・livedoor ネットアニメ http://anime.livedoor.com/

◇イベント終了後に以下のケータイサイトで作品が閲覧可能となります。
ポケメロJOYSOUND・着信メロディGIGA

本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

＊ご取材の向きは、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。

“やわらか戦車クレイアニメワークショップ for Kids”運営事務局 (特定非営利活動法人 CANVAS 内)
担当:熊井
Tel:03-5534-8088　FAX. 03-5534-8081　電子メール:information@canvas.ws